

INVENTION OF PERRY-IMAGES

特別展
ペリーの
顔・貌・カオ
かお

—「黒船」の使者の虚像と実像—

Who
are
I
?



日本財団 助成事業
The Nippon Foundation

2012
7/7 ± 8/26 日

【開館時間】 9時30分～17時 (入館は閉館30分前まで)
【休館日】 毎週月曜日(7月16日は開館)
【観覧料】 一般700円(600円) 20歳未満・学生500円(400円) 65歳以上・高校生100円(100円)
※中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料 ()内は20名以上の団体割引料金
※レーザー割引のご案内:観覧済みチケットをご提示頂くと、次回観覧料を団体料金に割引いたします。
【交通】 みなとみらい線「馬車道駅」5番出口から徒歩1分
JR・市営地下鉄「桜木町駅」「関内駅」から徒歩8分
〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60 Tel:045-201-0926 Fax:045-201-7364



主催:神奈川県立歴史博物館
後援:毎日新聞社横浜支局・神奈川新聞社・朝日新聞横浜総局・
読売新聞東京本社横浜支局・産経新聞社横浜総局・東京新聞横浜支局
日本経済新聞社横浜支局・NHK横浜放送局・+V!K(テレビ神奈川)

神奈川県立歴史博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History
http://ch.kanagawa-museum.jp/

特別展

ペリーの顔・貌・カオ

「黒船」の使者の虚像と実像

日本を開国させるべく2度にわたって来日したアメリカ合衆国東インド艦隊司令長官マシュー・カールブレイス・ペリーは、日本史に名をとどめる著名な外国人のひとりにあげられます。ペリーやアメリカ艦隊を描いた肉筆画や瓦版などが数多く制作され、一種の情報媒体として日本各地に流布したことも、ペリー来航の日本への衝撃がいかに大きかったかを物語っています。特に、ペリーの肖像画は、幕末期に来日した他の外国人とは比較にならないほど多く、また様々な顔貌のものが描かれ今日まで遺っています。

そこでこの展覧会では、ペリー来航時の様子を描いた資料を紹介しつつ、多種多様なペリー像に焦点を当てます。そして、ペリーがどのような人々によって描き伝えられていったのかを、肖像画を比較することを通して、その関係性を明らかにします。

噂や想像によってイメージされた本人とは似ても似つかない「虚像」に惑わされることなく、是非ご自身の目でペリーの「実像」を確かめてください。



■展示構成

I 彼らはやってきた

ペリー来航時の様子を伝える、古文書、絵画、瓦版、石版画などの資料によりペリー来航の目的と幕府の対応について再確認します。

II 描き、伝えられたペリー

日本人絵師により描かれたペリーをはじめとする米国士官の絵画資料を通じて、大名あるいは儒者などのネットワークのなかで、写し伝えられてきたことを具体的に明らかにします。

III 変容するペリー

ペリーをはじめとした米国士官の肖像画は、実際とは全くかけ離れた顔貌で版画として全国に流布したり、写し伝えられたりしています。そのような変容したペリー像を通して、当時の人々がペリー来航をどのようなものとして受け止めていたのかを追究します。

IV 伝承されるペリー

当時流布したペリーの肖像画は今日様々なところに伝えられています。江戸時代末期から今日に至るまで、ペリー像がどのような理由で収集、保管されてきているかを紹介し、日米関係の象徴とでもいうべきペリーは、日本にとっていかなる存在であったかを再考します。

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| A 「嘉永五年 阿蘭陀別段風説書」 | 神奈川県立歴史博物館 |
| B ウィルヘルム・ハイネ画「横浜上陸」 | 凸版印刷株式会社印刷博物館 |
| C 「肉筆 ペルリ像」 | 神奈川県立歴史博物館 |
| D 「肉筆 アダムス像」 | 神奈川県立歴史博物館 |
| E 「北亜墨利加合衆国水師提督ペルリ之肖像」 | 神奈川県立歴史博物館 |
| F 西坂衷天錫「金海奇観」(部分) | 東京都江戸東京博物館 |
| G 「和唐内」 | 神奈川県立歴史博物館 |
| H 「開港日記」(部分) | 東北大学附属図書館 |
| I 高川文釜「横浜応接秘図」 | 真田宝物館 |
| J 国宝 島津家文書の内「アメリカ使節ペリー他肖像」(部分) | 東京大学史料編纂所 |
| K 歌川国信「和蘭陀画幅」 | 下田・了仙寺 |
| L 重要文化財 鷹見泉石関係資料の内「彼理横兵入津図」(部分) | 古河歴史博物館 |

INVENTION OF PERRY-IMAGES



■【記念講演会】事前申込制(申込多数の場合は抽選)

①「ペリーを描き、伝えた人々」

7月16日(月・祝) 14時～16時

講師：嶋村元宏(当館主任学芸員)

概要：これまで十分に明らかにされてこなかった、ペリーをはじめとするアメリカ使節団の肖像画がどのような人々によって描かれ、伝えられていったのかを、出品資料である早稲田大学図書館と東京都江戸東京博物館とが所蔵する「金海奇観」をもとに解き明かします。また、このことと関連して、幕府儒官林大学頭を応接委員全権に選んだ幕府外交の特質について迫ります。

②「日本におけるペリーの「記憶」-Perry-Image: Remembered in Japan-

8月5日(日) 14時～16時

講師：長井純市氏(法政大学教授)

概要：日本が明治時代以降、ペリー来航をどのように扱ってきたのかを、ペリー上陸記念碑、国定教科書の記述、さらに開港祭や黒船祭などの行事を通じて分析します。そして、大正時代末期以降、反米的な言動が一部の人々によって行われるという状況下において、日本の一般大衆が抱いた親米感情はどのように定着していったのか、日本の近代化の出発点を刻印したペリーに関する記憶が日本人にとって幸せなものであったのか、ということを考えます。

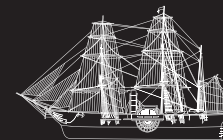
会場：当館講堂

定員：70名

受講料：無料(ただし、特別展観覧券が必要です)

申込締切：①7月2日(月)

②7月22日(日) ともに必着



■【子ども向け行事】事前申込制(申込多数の場合は抽選)

「ペリーについて調べようー学芸員と一緒に夏休みの自由研究をー」

●8月19日(日)、21日(火)、22日(水) → 小学校高学年向け

●8月23日(木)、24日(金) → 中学生向け

●8月26日(日) → 高校生向け

概要：この展覧会にあわせて作成した特製ワークシートを使いながら、ペリー来航の歴史について学びます。展示資料を実際に見てもらい、ペリーをはじめとするアメリカ使節団を当時の人々がどのように見られていたのかを、参加者自身で考えてもらいます。※夏休みの自由研究としても利用してください。

時間：10時～15時

会場：当館会議室および特別展示室

定員：小学生高学年・中学生 各回15名、高校生10名

(ただし、小学生は保護者の付き添いもしくは送迎が必要です)

参加費：無料(ただし付き添いの保護者の方が展覧会をご覧になる場合は、特別展観覧券が必要です)

申込締切：8月5日(日) 必着

※小学校高学年及び中学生が保護者の付き添いなく参加される場合は、昼食を持参してください。

■【学芸員による展示解説】申込不要

日時：7月7日(土)、14日(土)、21日(土)、28日(土)

8月4日(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土)

時間：14時～15時

会場：特別展示室

「往復はがき」に郵便番号・住所・氏名・電話番号・行事名を明記のうえ、当館へお送りください。または、ホームページ「行事案内」からお申し込みください。(お一人様1講座に1通でお申し込みください)

宛先：神奈川県立歴史博物館 企画普及課

申込先：〒231-0006 横浜市中区南仲通 5-60

<http://ch.kanagawa-museum.jp/>

特別陳列のご案内

夢窓疎石と
鎌倉の禅宗文化

9/1土～9/28金

次回特別展のご案内

再発見！鎌倉の中世

10/6土～12/2日

